

What's New

モジュールメーカーの特色を活かしたO&Mサービスを自社開発以外の太陽光発電所向けに提供開始！

これまで自社開発の太陽光発電所に限定して提供してきた「O&Mサービス」を、自社開発以外の高圧太陽光発電所（50キロワット以上2,000キロワット未満）にも広げ、今年6月1日より受注開始することを発表しました。サービス価格は発電所の規模やシステム構成、立地条件や選択するサービスメニューにより異なりますが、すべてのサービスメニューを選択する場合は、1,000キロワット規模の発電所で約200万円（税抜き、参考価格）で提供します。

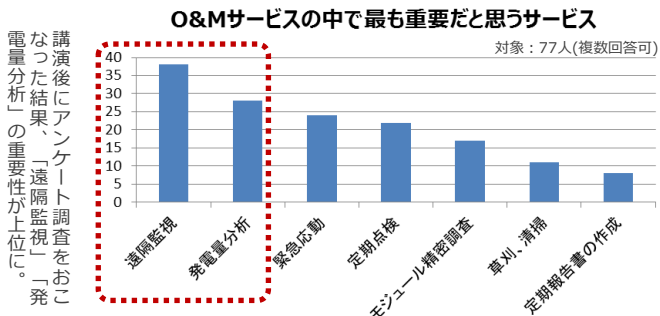


太陽光発電所のビッグデータをどう分析し、売電ロスを最小化するか。サンテックパワーが『日経産業新聞フォーラム 2016』で講演

「新たなフェーズに移行する太陽光発電-O&Mと自家消費で実現する安定運用」と題して5/24に開催された『日経産業新聞フォーラム 2016』にて、当社の山時取締役が講演しました。発電事業者やEPC事業者、金融機関や投資家なども含め、約500名の来場者に対し、「長期安定的な発電」「効率的な発電と売電ロスの最小化」「運用コスト・維持コストの削減」を目指すO&Mサービスの必要性と、それを支えるポストFITのノウハウ（メテオコントロール社製遠隔監視システム）の活用を提案しました。また、近日中に低圧向けの遠隔監視パッケージを発表することにも触れました。日経産業新聞6/28朝刊にも報告記事が掲載されます。是非ご一読ください。



山時 義孝
最高経営企画責任者



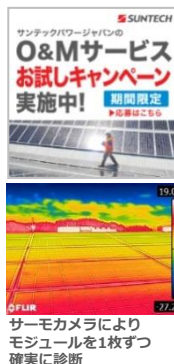
期間限定 O&Mサービス「お試しキャンペーン」実施中！

サーモカメラによる「モジュール不具合点検」を抽選で20発電所に対して無償で提供します。

【点検内容】

- 太陽光発電モジュール1枚ごとにサーモカメラによる点検
- 半田付け箇所、ケーブル、コネクタ接続箇所の温度異常を確認
- 初期不良や不具合の可能性を発見
- 精密調査の必要性を把握
- 点検終了後に点検結果報告書を作成

お申込みは下記専用のウェブサイトにて。
<https://www.suntech-power.co.jp/campaign/>



PV Japan 2016 に出展します



産業向け「太陽光+α」のソリューションに特化

サンテックパワージャパンは、6月29日(水)~7月1日(金)の期間、パシフィコ横浜で開催されるPV Japan 2016に出展します。産業分野における「太陽光+α(プラスアルファ)の提案」として「O&Mサービス」「メテオコントロール社製 遠隔監視システム」「低圧向け遠隔監視パッケージ」「メテオコントロール社の企業紹介」を展示します。ご来場の際は、是非とも当社ブース(詳細下記)にお立ち寄りください。



開催期間：2016年6月29日(水)~7月1日(金) 10:00~17:00
会場：パシフィコ横浜 展示ホール
ブース番号：P-1014

メテオコントロール社 ドイツ本社から責任者が来日します！

ドイツ、メテオコントロール社の責任者、マーティン・シュナイダー(Martin Schneider)氏が初来日します。サンテックパワージャパンは、国内唯一の正規販売代理店として、メテオコントロール社の遠隔監視システムを販売しています。改めてその製品の魅力や、メテオコントロール社の会社紹介、ポストFIT先進国ドイツの太陽光発電事情などをお伝えします。

【プロフィール】

1971年8月15日生まれ。アウクスブルク大学(ドイツ)・アルスター大学(北アイルランド)で電気工学を専攻。メテオコントロール社では、営業および開発の責任者を務め、2008年からマネージングディレクターを務める。



Martin Schneider 氏

Pick-up Topic

サンテックパワージャパン 新取締役のご紹介

今年6月1日付で新たに取締役に就任した上野智和(うえのともかず)氏。営業を統括していく立場として、これからの意気込みなどを聞きました。

—就任を決めた理由を聞かせてください。
今後太陽光モジュール販売だけでなく、関連製品の販売を強化するという方針のもと25年の商社の経験が生かせると思い就任を決めました。

—客観的に見てサンテックパワーの強みとは？
日本国内に工場があることによるサポート体制、太陽光経験値が長いことによる技術力だと思います。

—今後の抱負を聞かせてください
色々な意味で新しいビジネススキームを構築できたらと思います。

【プロフィール】

東京都生まれ。1984年にエレクトロニクス専門商社の伯東(はくとう)に入社。2012年カナディアンソーラー(株)の取締役を経て、今年6月にサンテックパワージャパン(株)の取締役に就任。趣味はゴルフとお酒。



導入事例のご紹介

当社の太陽光発電システムを採用いただいた住宅をご紹介します。



軽井沢らしい別荘タイプの住宅。屋根建材型ならではのすっきりとしたスタイリッシュな外観です。ホクシンハウス様のモデルハウスに採用いただきました。



新築で建てられた白亜の家に採用いただきました。「25年の出力保証と、しっかりしたサポート体制が導入の決め手でした」とご主人のI様。

「ハイブリッド蓄電システム」ZEHの補助金 対象機器に登録完了

平成28年度「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業(ZEH)」・平成27年度補正予算「住宅省エネリノベーション促進事業補助金」の対象機器として、『マルチストリングパワーステーション本体・ベース・リチウムイオン蓄電池ユニット・蓄電池ネットアダプタ』がセットになった「GPH-5522A-1」というパッケージ型番で登録されています。詳しくは、SIIホームページをご覧ください。